

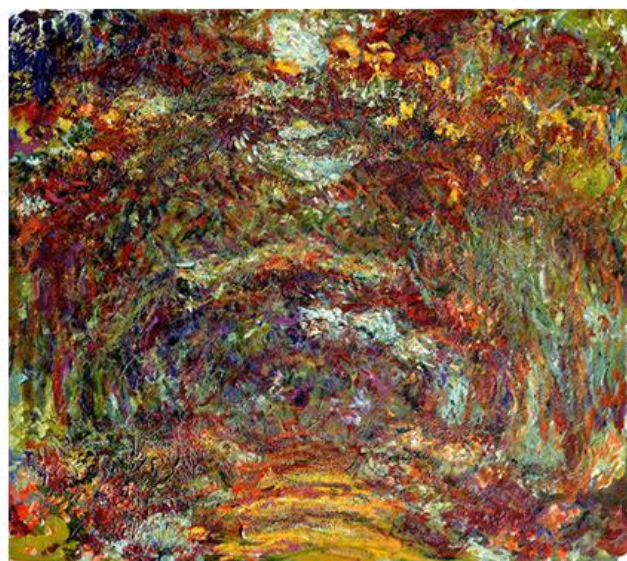
サロン・ラクーガ美術館巡り「モネ展」見学報告



<印象、日の出 (モネ 32 歳の作)>



<睡蓮 (モネ 63 歳の作)>



<バラの小道 (モネ 80-82 歳の作)>

9月29日に、サロン・ラクーガの年度計画で決めていた美術館巡りとして、東京都美術館で開催されている「モネ展」に、6名で行って来ました。

朝10時に上野駅公園口に集合して、美術館へ向かいました。

今回の展覧会は、モネのプライベートコレクションを中心に、10代の作品から晩年の作品まで約90点の作品が展示されていました。

会場内は、かなり混雑して作品を見るのに、時間が掛かりました。

モネと言えば、「睡蓮」のシリーズが有名ですが、本物を見て、水面の色合い、映りこみ等の書き方に感心させられました。

一番感動したのは、「印象、日の出」です。小さな作品なのですが、見た瞬間、輝く様な明るさを感じました。

照明の仕方も影響しているのですが、こんなに明るい絵だとは思っていませんでした。モネが、この絵によって世に出て、「印象派」と呼ばれるようになったと言いますが、なるほどと納得しました。

晩年の絵は、「バラの小道」シリーズとか、「日本の橋」シリーズとかが、何点か展示されていましたが、色を強烈にぶつけた、抽象画を思わせるような絵に、「これがモネの絵か?」という思いが湧きました。

モネ展を出た後、メンバーの一人である山内さんの案内で、近くにある「黒田清輝記念館」に寄って、黒田清輝の作品をいくつか観賞した後、帰途につきました。

好天にも恵まれ、絵を見ながら、絵画談義に花を咲かせながら、上野の森をブラブラした楽しい一日でした。

記 : 小原誠一



会場前で



東京都美術館前で